



文献講読『援助の中心にあるもの： 共感性とヒーリング・プレゼンスの創造』 講師：上嶋 洋一（うえじま よういち）

本講座は、向精神薬に頼らず精神科疾患治療の道を探求している精神科医ピーター・ブレギン（Peter Breggin）の、精神療法に関する主著『援助の中心にあるもの：共感性とヒーリング・プレゼンスの創造（*The Heart of Being Helpful : Empathy and the Creation of a Healing Presence*）』（1997年）を読みまします。文献の講読をとりあえずの入口にしなが、関連文献を読んでみたり、休憩したり、浮かんできた各自の体験や思いを分かち合ったり、また文献に戻ったりという、つまり「パーソンセンタード・アプローチをパーソンセンタードな形で学びながら」私たち自身のカウンセリング観を育み深める一助にできればと願っています。その入口として精神科医ブレギンを選んだ理由は、精神科医が向精神薬に頼らずに治療を試みようとする、その姿は、薬を処方することのできないカウンセラーやソーシャル・ワーカーの在り方と似てくる可能性が高いからです。それゆえ医師以外の対人援助職者にとっても学べるところは多いのではないのでしょうか。受講生のみなさんには訳文を事前にお送りします。

【日程】 2024年5月～2025年1月 原則第2日曜 全8回
2024/5/12, 6/9, 7/14, 9/8, 10/6(第1日曜), 11/10, 12/8,
2025/1/19(第3日曜)

【時間】 10:00～12:00 1回2時間

【受講料】 30,000円(消費税10%込)+年会費3,000円

【定員】 16名

【会場】 Zoom 会議室

【申込方法】 <https://www.npo-cesc.or.jp> 申込フォーム、または右 QR コードから



特定非営利活動法人
カウンセリング教育サポートセンター

〒141-0031

東京都西五反田 5-5-2-303

TEL: 03-6766-1015

URL: <https://www.npo-cesc.or.jp>

上嶋 洋一(うえじま よういち):1952年大阪生まれ。東京教育大学、筑波大学大学院を経て、定時制の看護学校、夜間の保育専門学校、短期大学、大学などでカウンセリング関連の授業を担当。元・千葉商科大学学生相談室カウンセラー。研究領域は、来談者中心療法および実存主義的アプローチを手掛かりにしたカウンセリングの中核条件の探求。

本講座は、ONLINE 研修です。皆様はご自宅から受講いただけます。

必要なものは、パソコン、スマホ、タブレット等です。スマホ、タブレットの場合、あらかじめアプリをインストールしてください。ダウンロードは <https://zoom.us/download>

■本研修受講については、自宅等でプライバシーが十分に守れる場所での Web 接続と内容に対する守秘義務を遵守していただきます。

■場合によっては、電波の障害などで繋がりが悪くなることがあります。電波の強弱の確認をお願いします。以上のことに同意をお願い申し上げます。

“Zoom”に不案内な方は、Mail:cesc@npo-cesc.or.jp にご連絡ください。